



屋外作業が増える季節、身近に生息するチャドクガとハチには特に対策が不可欠です。正しい知識を身につけ、予期せぬトラブルや事故を防ぎましょう。

令和8年6月（通算第162号）

発行：公益財団法人東京しごと財団（東京都シルバー人材センター連合）

## 屋外作業の天敵「虫」から身を守ろう！

### ツバキやサザンカ、チャノキに潜む チャドクガに要注意！

年2回発生し、卵から成虫、抜け殻にいたるまでどの段階でも強力な毒針毛を持っています。

#### ●特性

- ・ **集団で葉に整列**：淡い黄色で背に黒い斑点があり。卵、幼虫、成虫のどの段階でも体毛に毒を持っている。
- ・ **見えない危険**：0.1ミリの極小の毒針毛が風で飛散しやすい。肌や服に付くと激しい痒みや皮膚炎を起こす。

発生時期

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
卵										(越冬)		
幼虫(毛虫)												
成虫(ガ)												

#### ●予防・刺された時の対処

- ・ **見つけたら**：スプレーのりで固めて毒針毛の飛散を防止。幼虫が葉に固まっている一帯をビニール袋などで覆い、枝ごと切り取るのも効果的。
- ・ **刺されたら**：**掻くのは禁物**。粘着テープ等でそっと押さえて毒針毛を除き、強い流水で洗い流す。赤みや腫れ、痒みが出てきたら冷やす。抗ヒスタミン軟膏を塗る。
- ・ **服の処理**：50℃以上のお湯で洗いアイロン掛け。そのまま洗濯機で洗うと他の衣類に毛が移るので注意！



資料提供：（公社）農林水産・食品産業技術振興協会 <https://www.jataff.or.jp/>

## 草刈りシーズン到来！ハチの被害を防ごう

アシナガバチやスズメバチは7～10月に活動が最も活発になります。草むらでの作業前には、周囲に巣がないか必ず確認しましょう。

#### ●特性

- ・ **危険な時期**：アシナガバチは7～8月、スズメバチは8～10月。
- ・ **攻撃のサイン**：近くで「カチカチ」と音がしたら威嚇の証拠。
- ・ **黒色に反応**：黒を敵とみなす。



#### ●予防・刺された時の対処

- ・ **服装での予防**：黒を避け、帽子、ゴーグル（**黒目部分の保護**）、長袖・長ズボン。強い匂い（化粧品・整髪料・清涼飲料水など）も厳禁。
- ・ **刺されたら**：まず安全な場所へ退避。毒針があれば直ちに引き抜く。できるだけ早くポイズンリムーバー等で毒を吸い出す。
- ・ **処置**：傷口を洗い抗ヒスタミン軟膏などを塗り、冷やす。

※少しでも体調に異変を感じたら、無理をせず直ぐに皮膚科や救急病院を受診してください。